



大津島(平成26年8月1日現在)  
人口 332人(男140人 女192人)  
高齢化率 73.5%

全4チーム 参加者30名

順位	チーム名
1	朱雀 ★河島 昭
2	白虎 ★渡邊 宗彦
3	玄武 ★中野 悦男
4	青龍 ★西山 和彦

デザイン=石丸 康生 ★=チームキャプテン



### 「若潮の会通信」

平成二十年六月から二十四年三月まで大津島郵便局に勤務。島の皆さんに関わっていく中、何かできないかとの思いはありましたが、なかなか思うような活動はできませんでした。島おこし隊の着任により、「これから・・・」という時の転勤でした。

転勤後も引き続き、ポテトマラソン、運動会等に参加してきましたが、そんな中、「若潮の会」の発足。同じ思いを持つ諸先輩方とともに、今後も大津島に関わっていきそうです。

海開きの日に、周南市内外の局長数名と刈尾でバーベキューをしました。みんな、大津島の方たちの温かさ、島の風景に感動していました。帰る実家は今は大津島にありませんが、帰れば大津島は温かく迎えてくれる。また、帰ります！

文|| 苅田 康志

### 「アイランドカップを終えて」

八月十五日にアイランドカップが十五年ぶりに復活し三十人もの方に参加して頂き盛大に大会を開催出来た事を実行委員長として大変感謝しております。特に島民の方に十二人も参加して頂き、若い方のハツラツとしたプレー、五月に北部ソフトバレー大会と一緒に参加した時より数段に成長した姿に感心しました。ソフトバレーは男女問わず幅広い世代の方が参加出来るスポーツです。六十代は元より七十代で現役という方も沢山います。これを機会に島の中でソフトバレーが盛んになる事を期待します。その為なら練習にどんどん参加したいと思えます。

来年は是非北部大会で優勝しましょう。

文|| 西山 和彦(アイランドカップ実行委員長)

# 大津島の人々 (9)



石田 三生 (いしだ みつお)さん  
消防団員 近江出身。昭和 41 年生まれ。48 歳。

Q 消防団に入るきっかけは？

A 以前から団員の皆さんに誘ってもらっていた。いつも頭の片隅にあり、3年前に自衛隊の予備をやめたのをきっかけに、昨年入団した。

Q なぜ小型ポンプ操法に？

A いくつか必ず順番が回って来るだろうから、やっておいた方が良いと思った。しかし、自衛隊でも経験が無く、果たしてどんなことをやるのか全くわからなかった。余談になりますが、自衛隊では「操法」ではなく「操砲」という言葉が身近でした。この操砲は、とにかく動きを省略して、スピード重視するものだった。

しかし、今回の「操法」は、一つ一つの動作を区切り、正確に行わなければならない、初めての経験だった。

Q 練習が始まって？

大会まで時間が無く、チームでやるので、えらいことになったと思った笑

練習の後半頃には、大会が早く終われば、足がどんなに楽かと思った。普段から運動不足だったので。

Q 当日の様子は？

緊張もしたけれど、シタバタしても仕方ないと思った。

初めての参加だったので、失うものは何もない！ピリでも良いと言ったけれど、段々欲も出てきた。

結果八位という素晴らしい順位だった。個人的には悪くないと思った。

Q では来年も参加？目標順位は？

出るようになるだろうね(笑)。多分消防団の皆さんもそう考えているのでは...？来年の目標は、一つでも上の順位を目指そうと思う。目標は、7位にしよう。

Q 九か月間、団員として活動してみて？

周りの人と距離が縮まり、自分がどんな人なのかも伝えることが出来、新しい発見もありました。来年も頑張ります。

(聞き手・文 大友)



蓼(たで)を活ける 安達 照子



帰省中の子や孫達が台風の接近で予定を変更してバタバタと帰って行ってしまいました。「来てよし、帰ってよし」の心境で多忙な短い夏休みのひとときでした。

糸瓜



長雨と日照不足の今年の夏は、早くも秋の訪れを感じさせる様な気配ですネ!!

## 海 の街道・十三 【大阪城残石】



角石算木積み

文=末兼正純

瀬戸浜にある大阪城築城の残石のことは皆さんよくご存じだが、その背景についておさらいしたい。

大阪城といえば太閤秀吉が思い浮かぶが、この大阪城はそれではなく、徳川第二代将軍秀忠が、西暦一六二〇から九年をかけて築いたものである。

一六〇〇年の関ヶ原の戦いの後、一六〇四年の大坂夏の陣によって豊臣家は完全に滅亡した。秀吉の大阪城は更地にされ、その上に高々と盛り土をして新たに築かれたのが、復元されて今も残る大阪城である。

姫路・熊本・名古屋などの名城は戦国末期から江戸初期に今の姿となったが、大阪城は、日の出の勢いの徳川幕府が諸大名に大号令して天下普請で造営した最新の城であり、我が国の築城技術の集大成である。

大阪城は花崗岩の巨石で統一された類例のない大規模な石垣で有名であるが、その他にも一〇〇トンを超える花崗岩の切石が数多く使われている。

徳川幕府は、その石材の調達を花崗岩の産地である瀬戸内海の島を領有する諸大名に命じた。大津島の残石は、毛利家が命ぜられたものうちの一つである。

大津島の残石のような見事な切石は、石垣の構造上最も重要な出隅の角石算木積み(すまきづみ)に用いられている。

大阪城残石が数多くある小豆島には大阪城残石記念公園がある。その資料館には海上運搬に用いられた筏(かた)が石を載せて浮かべてあり、陸上運搬用の修羅(ころ)を用いる(籠)や工具などが展示されている。

## 知っちよるかね



### 「お大師相撲」

文＝松本 千恵子

今年の秋のお大師様は盆過ぎの十六日で、馬島伝統の相撲大会が行われました。昔はこの相撲大会は今のようには子供だけの行事じゃあなくて、一人前の男らあも本気で取りよったそうかね。三島（馬島、野島、粕島）で一番の力自慢が決められたりした。じやから自分の父ちゃんか何人抜きかをやって照れながらも誇らしげに笹花を取って帰って来た日にやあ子供らあまで誇らしい思いをしたものじゃったね。

供らあはもう親になっちゃよるけど、今も後を継ぐ子供達が力いっぱいガチンコ勝負を繰り広げて大いに盛り上がったよ。子供の数は幼小中全部で六人しか居らんようになったけど、当日は先生の子供さん二人と帰省中の二人の子供達も一緒に真剣勝負。兄弟対決あり、年齢差十歳がありながらもみんな全力を出して闘って、沢山の声援を受けて、笹花ももらって笑顔で終える事ができたね。

最後の取り組みは田辺駐在所長さんと中学校の四元先生の一步も引かぬ熱闘で大喝采じゃったいね。今年も楽しかったあ。こうした賑わいが、いつまでも続くことを願うちよるんじやがね。

さて、我が家の娘はこの度で最後の相撲になりました。地域の皆様に見守って頂いたおかげで、沢山の思い出ができました。ありがとうございます。

## 盆供養踊り



### ～平家踊り保存会～

文＝古城 隆夫（会長）

8月14日（木）に、盆供養踊りを開催しました。今年度より、平家踊り保存会は役員が変わり、新しい役員（会長 古城隆夫、副会長 高松敏、松本千恵子、会計 渡邊あゆ子、会計補佐 大友翔太、監査 石丸一磨、石丸和子）で迎えた初めての供養踊りでした。当日は雨天の影響で、馬島公民館集会室にて開催しました。今年は、のべ200名近い人が公民館に集まり供養踊りを行いました。ありがとうございます。また自治会長をはじめ、有志で準備や片づけを手伝って下さった皆様には、重ね重ねお礼を申し上げます。

## ひろしのつぶやき



### 「想う」

文＝屋野 廣志

大津島の人口？三百三十人。平成の初めには、八百人は居ただろうに。明治の初期に、千三百四十五人と三百九十五戸の記載がある。これと言える特産物も無く、山頂まで耕し、麦を植え、芋を植え働きに働いてきたであろう。

昭和十三年に電力の供給を受け、昭和四十八年に水道の供給により、豊かな給水の恩恵に感激した。

大正十二年より就航した大津島巡航会社も、昭和五十七年フェリー就航に合わせ島内の道路も、海岸線や古い道も、拡張し立派な道となり、乗用車の台数もその頃より急速に増加した。現在は島内の保有数は五十台。何より嬉しきことは、し尿処理ではなかったか。

大変便利な豊かなかたちをととのえて来た。人口の減少もその頃より始まった。

雇用機会も無く、若者は島外で働く事は当然と考へ、漁業、海運業も後継者がなく、高齢と共に無に等しい。

何の特産品も無く、雇用の場も無い、全て他者よりの支援で生活している大津島は、せめて健康と幸を届ける所としたいものだ。

それにしても、今年の海水浴利用者の少なかつたこと。十年先の島を想い淋しい。もつともつと子供を産めと都議会議員さん大きな声で叫んで下さい。己の世代を守る島にもとつぶやく。

## 「船上にて」



文＝藤本 吉章  
大津島小中学校教頭

青い空と真っ白な入道雲、そして輝く海、ここ大津島にはたくさんさんの自然がある。さて、八月十四日の徳山港発七時四十分フェリー新大津島。お盆を迎え、手にしきびを持った三世代一緒の家族などたくさんさんの乗客で賑わい、船内のあちこちの会話から、乗船している方の故郷を思う気持ちの強さを感じる事ができた。

現在、幼稚園・小学校・中学校では計六名の子供たちが生活しており、地域のご協力を得て、地域行事に参加し温かな見守りのお陰で、豊かな郷土愛を育んでいる。この大津島での郷土愛は、子供たちの成人後もそれぞれの心の支えとなり、きっと人生の原動力になるものと信じている。豊かな自然と温かな人々によって育まれることで、自分も微力ながら郷土愛をふくらませる一助になれたらと思う。何十年か後の船内でも、故郷を思う会話がなされることを期待して。

## 交通安全協会からお知らせ



文＝大友 あゆみ（事務局）

この度、周南交通安全協会 大津島支部が、長年の活動の功績を称えられ、平成26年度「交通安全表彰」を受賞しました。代表して、支部長の安達雅之さんが、6月27日(金)にキリンビバレッジ周南総合スポーツセンター内で行われた表彰式に出席し、木村健一郎会長から賞状と記念品が授与されました。

設立時からこれまで、本支部の活動に関わってくださった、すべての皆さまにお礼を申し上げますとともに、今後も、交通立哨やカーブミラー清掃等を通じて、島内の交通安全に寄与して参りますので、皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

## ～事務局からのお知らせ～

大津島地区社会福祉協議会よりお礼  
平成26年度善意銀行へのご寄付をありがとうございます。

- 預託者 宗 良作 様  
亡母 宗 シズノ 様の香典返しとして  
金50,000円  
(市社協 10,000円、大津島社協 40,000円)

## 移動図書館<やまびこ号 Jr.>

- 9月17日(水) 10月17日(金)
- 馬島巡航待合所 11:30～13:30
  - 刈尾巡航待合所 12:20～12:50



大津島の最新情報 更新中!!  
<http://shunan-inaka.jugem.jp/>

## 編集後記

現在、島内の若者が中心となり、ソフトバレーボールの練習を行っています。

●練習日：毎週金 19時～ 中学校体育館(馬島)

●持ち物：体育館履き 飲み物 参加費 100円

※※※※皆様お気軽に遊びに来て下さい! ※※※※

## ★★★★★ポロシャツ販売のお知らせ★★★★★

アイランダー2014に向けて、この度ポロシャツを作成しました。運動会にて限定100枚で、販売する予定です。詳細は、回覧にてお知らせ致します。

【大津島オリジナルロゴ入りポロシャツ】  
限定100枚! 価格：3,143円 色：紺、青



表



裏